



富士フィルム・グリーンファンドは、今年（2020 年度）で 37 年目を迎え、昨年までの助成先は 183 件となりました。身近な自然を守るために地域に根づいた活動をしてきた方、あるいは環境保全の研究を実際に進めてきた方で、この助成によって大きな進展が望める活動や研究を対象としています。

今年度は 8 件程度、総額 850 万円の助成を予定しています。

2020 年 富士フィルム・ グリーンファンドに ご応募ください

締め切りは 2020 年 5 月 7 日(木)

*応募要項の公開・配布期間は 3 月からです。応募要項のご請求は 3 月以降にお願いします。

応募要項をご希望の方は、ハガキまたはファクスに住所・氏名・電話番号・研究あるいは活動助成の別を明記の上、下記宛までご請求ください。また、一般財団法人自然環境研究センターのウェブページ (<http://www.jwrc.or.jp/>) から当該文書をダウンロードすることができます。

2020 年度

富士フィルム・グリーンファンドにご応募ください。



応募資格

1. 活動助成を申請するものは、身近な自然の保全や、自然とのふれあい活動を積極的に行っていること
2. 研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること

対象となる活動 / 研究

1. 営利を目的としない活動及び研究
2. 活動及び研究が行われるフィールドは、日本国内であること
3. 活動助成の場合には、活動フィールドができる限り申請者（申請団体）によって既に確保されている等、活動フィールドの基盤がしっかりしているもの

研究助成の場合には、フィールドでの研究に対し地権者の許可もしくは協力関係が保たれているもの

4. 個人もしくは団体申請において、活動及び研究の実績があるもの（ある程度実績があり、発展的な活動や研究を行うための申請であれば対象となる）
5. 個人による申請の場合、助成金の使途が助成の趣旨に沿って適格・厳正であり、助成金の使途において本人あるいは親族等、特別な関係のある者に利益を与えないもの
6. 団体による申請の場合、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他の機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに、決定・運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体
7. 科学研究費による研究が好ましいと思われる研究は、助成対象としない
8. 過去に当ファンドの助成を受けた個人・団体は助成対象としない



過去 3 年の助成先

※団体名・所属名等は助成当時のものです

2017

- ・女川学びの森の整備と利活用促進 / NPO 法人 女川ネイチャーガイド協会 / 宮城県
- ・里山を活かしたこどもの遊び場と大人のコミュニティスペース / 土沢森あそびの会 / 神奈川県
- ・子どもたちによる里山再生プロジェクト
～南アルプスユネスコエコパーク内での獣害につよい畑づくり～
南アルプス子どもの村中学校 / 山梨県
- ・豊田市の中山間地を舞台とした多世代参加型の自然とのふれあい活動
豊田高専ドミタウン実行委員会 / 愛知県
- ・東京藝術大学上野キャンパスにおける武蔵野の植生再生と維持の活動
東京藝術大学キャンパスランドデザイン室 / 東京都
- ・ニホンシギメの保全を目的とした生活史の解明 / 小賀野大（東邦大学理学部） / 千葉県
- ・知床国立公園とその周辺におけるヒグマと人の共存の道を探る調査研究
下鶴倫人（北海道大学大学院） / 北海道
- ・石狩海岸における希少アリ類・海浜植物・外来カエル類の相互関係に関する研究
吉田剛司（酪農学園大学） / 北海道

2018

- ・大人も子どもも楽しく安全に自然体験が楽しめるガイアの森づくり
NPO 法人 ガイア自然学校とやま / 富山県
- ・みちのく潮風トレイル利用促進のための歩行データの調査・研究
特定非営利活動法人 みちのくトレイルクラブ / 宮城県
- ・豊北の水と生態系の研究・下関北高協同～粟野川流域図作成を原点に～
北高夢ロード実行委員会 / 山口県
- ・海岸の自然観察を通じてマイクロプラスチックの危険性を学ぶ
特定非営利活動法人 サンクチュアリエヌビーオー / 静岡県
- ・伊豆諸島青ヶ島の絶滅危惧種が生息する噴気孔原群落の保全にむけた基礎研究
上條隆志（筑波大学） / 東京都青ヶ島
- ・天然記念物ミヤコタナゴの再導入等の候補地の探索および生息地の再生手法の検討
鈴木規慈（三重大学大学院） / 千葉県
- ・網走市こまば木ひろばにおけるエゾモンガの生態調査
後藤ひとみ（東京農業大学） / 北海道
- ・巨樹・名木とそれを取り巻く地域社会における生態系サービス及び Eco-DRR 機能の定量的評価
宇野宏司（神戸市立工業高等専門学校） / 兵庫県
- ・岩手県の砂浜植生再生活動を通じた環境教育プログラムの開発
島田直明（岩手県立大学） / 岩手県

2019

- ・浅間山系におけるミヤマシロチョウの保全活動と生態調査
浅間山系ミヤマシロチョウの会 / 長野県
- ・男鹿の自然にふれあい生きる力を身につけよう！多世代参加の自然体験プロジェクト
子育てカフェ・にこりふ / 秋田県
- ・多摩丘陵に残された里山と古街道の歴史環境遺産を保護し、自然景観の維持と活用に貢献する / 歴史古街道団 / 東京都
- ・球磨郡相良村の湿地再生及びそれに係わる地域連携の構築 / 球磨湿地研究会 / 熊本県
- ・七尾湾の環境改善と環境保全型農業の実現に向けた海藻草の回収活動
能登の森里海研究会 / 石川県
- ・天然記念物コクガンの捕獲および GPS 送信機装着事業
鈴木卓也（南三陸ネイチャーセンター友の会） / 宮城県
- ・内部標識を用いた絶滅危惧種ガビ（*Pseudobagrus tokiensis*）の生活史調査
早川拓真（宇都宮大学大学院） / 栃木県
- ・広域分布型絶滅危惧植物の域外保全策確立に関する研究：ラン科カンランを例にして
長澤淳一（京都府立大学） / 京都府
- ・自然豊かな河川と水害をもたらす河川に関する伝統知と環境・防災教育に関する実践研究
落合知帆（京都大学大学院） / 京都府

*写真は 2019 年度の助成先より

